

授業参観、学級懇談会お世話になりました。



12月4日（金）の午後、本年度初めての授業参観と学級懇談会を行いました。

人権学習の授業を全学級実施しました。日頃の学校生活の中で考えてほしい大切なことについて、しっかりと考えをまとめてくれました。

一人ひとりの言葉を大切に、自分の思いを進んで表現できるようになることを目指して、授業を行いました。今回の5、6年生の授業は、日常生活でよくある場面の学習でした。「言い方がきつい」友だちにどう接していくのか。さまざまな考えがある中で、自分はどうかをしっかりと考えました。

5・6年生、人権学習「みんな、おかしいよ」

自分の思いを進んで表現する児童の育成

3、4年生は、「小学校でのできごと」を学びました。ランドセルの扱いを通して、変わるヒロシの態度。友だちにはいろいろな人がいます。相手が強いとか弱いとかで態度を変えていくヒロシ。そこから、自分の問題として考えていきました。

「自分がされていやなことは、人にもしない」「人が傷つくことは、しない」私たちは、このことがわかっても、気づかずに、誰かを傷つけていることがあるものです。

そんなとき、どうしていくことが一番良いことなのかを考えていきました。人が生きていく中で大変大切なことであり、人として一生続けていく学習だと思えます。

世の中には未だにたくさんの差別が存在します。部落差別、女性差別、高齢者差別、障がい者差別、人種差別など。差別は、差別をする側が、差別に気づき差別をしなくなるのが重要です。

私たちも、日頃の生活の中で「差別に気づき」差別をしない一人となるように、人権感覚を磨いていきましょう。



3・4年生 人権学習 「小学校でのできごと」

「決めつけ」をなくし、真実を見つけて伝えよう。



2年生 人権学習 「4つのボール」

2年生は、「4つのボール」の学習。ボールには、いろんなボールがあります。それぞれ違いがあり、使い方や性質も異なります。人にもたくさんの違いがあり、それぞれは尊いものです。違いを知り、大切に友だちと接していくことを学びました。いつも一緒にいる友だちの中に、これまで知らなかった新たな発見もきっとあることでしょう。それを発見できることは素敵なことです。

1年生は、「われた かびん」を学習しました。かびんがわれた。なぜわれたのだろう。犯人は誰だ。となりがちですね。私たちの生活でもよくあることです。きめつけや偏見。これは、きっと、〇〇に違いない。しかし、犯人扱いされた人の心の傷は大きいものです。「決めつけ」を見直し、自分を振り返っていくことや何かあったときに、本当のことを知り、伝えていくことの大切さを学ぶことができました。



1年生 人権学習 「われた かびん」

コメコメランドで育てたもち米の販売をしました。



2kg一袋のもち米



美味味屋米と名付けました ご購入ありがとうございました。



学級懇談会後に体育館西側入り口で、学校田で育てたもち米の販売をしました。5年生の子どもたちが、美味味屋米米（うまみやまいまい）と名付けました。多くの方にお世話になり、精米したもち米ができました。子どもたちも田植え、ジャンボタニシの駆除、稲刈りに頑張りました。

販売日当日は、たくさんの方に購入いただきました。大変ありがとうございました。売り上げは、来年のもち米作りや地域交流の資金とさせていただきます。